

〇〇経済産業局長 殿

同時に1. 地域コミュニティ機能再生事業と2. 商店街等構造改革事業へ申し込みを行う際は、事業毎に本要望書を作成してください。
 ※ただし、いずれの事業も同じ補助事業者の連携体で申し込みを行う場合は、1枚の要望書で構いません。

要望者（補助事業者）

商店街組織

住 所

名 称

代表者氏名

印

民間事業者

住 所

名 称

代表者氏名

印

平成25年度 地域中小商業支援事業（地域商業再生事業）要望書

地域中小商業支援事業補助金（地域商業再生事業）のうち以下の事業に係る補助金の交付を受けたいので、別紙書類を添えて提出いたします。（該当する事業に、○を記入してください。）

1. 地域コミュニティ機能再生事業	
<input type="checkbox"/>	(1) 地域状況調査分析事業
<input type="checkbox"/>	(2) コミュニティ機能再生事業
2. 商店街等構造改革事業	
<input type="checkbox"/>	(1) 商店街等構造改革調査分析事業
<input type="checkbox"/>	(2) 商店街等構造改革支援事業

要望書が複数にわたる場合、それぞれの要望書に、全ての該当事業について「○」を記入してください。

商店街等構造改革支援事業計画書

(1) 補助事業者について

補助事業者の概要を記載してください。

名称	例：〇〇商店街振興組合 例：〇〇事業協同組合 例：〇〇商店会		
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		
代表者 (役職・氏名)	理事長 〇〇 〇〇		
担当者 (担当部署名)	〇〇 〇〇 (事務局)		
担当者連絡先 (電話番号・FAX番号)	電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	(メールアドレス)	
設立年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	資本金 (単位：千円)	〇〇〇千円
出資者又は 組合員の数	〇〇名		

商店街等構造改革支援事業計画書

(2) 事業計画書

①補助事業の概要

事業名		
事業実施場所 (都道府県・市区町村名)	例：〇〇県〇〇市	
事業実施場所 (商店街名)	例：〇〇商店街 例：〇〇商店会 例：〇〇商栄会 等	
商店街を構成する 店舗数		組合等加入の店舗数
商店街の概況 ・特徴 ・周辺地域の概況 ・商店街の店舗構成 ・来街者の概況 ・地域住民のニーズ ・課題、問題点 ・取組状況 等		
・意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の存在	例： 青年部はこれまでも〇〇〇や〇〇〇などの活動をしており、独自で〇〇〇を開催するなど商店街活動への積極的な参画がある。今回の〇〇〇も青年部が中心となって開催することで、〇〇〇の効果があると考え	
・地域コミュニティの状況、課題（地域コミュニティの担い手としての活動等）		

商店街が複数ある場合は、事業を実施するすべての商店街名を記載してください。

商店街の立地、規模、構成店舗の業種、周辺状況(大型SCの進出など)、実施イベントや取組等ができるだけ詳細に記載してください。また、商店街に意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の存在がある場合、その内容についても記載してください。

商店街に意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の存在がある場合、その活動内容等についても記載してください。

商店街が地域コミュニティの担い手としての活動を行っている場合や今後そのような活動を行う場合は、その活動内容についてもできるだけ詳細に記載してください。

商店街等構造改革支援事業計画書

補助事業として 取り組む事業内容	<p>例： 調査分析の結果、本商店街においては〇〇〇のため〇〇〇の状況にあることが判明し、〇〇〇を〇〇〇するためには〇〇〇が求められていることから、本補助事業で以下の事業に取り組むこととする。</p> <p>①〇〇〇〇事業 平成〇〇年度〇〇統計より、当該地区の〇〇〇は、平成〇〇年度比〇〇%減となっており、〇〇〇が進んでいることが分かる。また、平成〇〇年度〇〇調査においても、〇〇〇が〇〇〇へと減少しており、〇〇〇であることが判明している。現在、〇〇〇の〇〇〇は〇〇円/年で、本商店街にとっては〇〇〇となっていたが、〇〇〇〇事業に取り組むことで、〇〇〇が〇〇〇へと改善されるため、新たに〇〇〇することができ、〇〇〇となる。</p> <p>②〇〇〇〇事業 現在、商店街内の〇〇〇は〇〇%となっており、平成〇〇年度と比較すると〇〇店も増えている。これにより、来街者からは〇〇〇というような意見が出ており、〇〇〇の低下を招いている。〇〇〇〇事業により、〇〇〇を〇〇〇することで〇〇〇につながり、〇〇〇も向上することにより、〇〇〇の増加および〇〇〇が見込める。</p>			
	<p>本事業を実施するに当たって必要な経費であって、適正に計上された金額を記載してください。</p>			
追加調査の内容 (該当する場合のみ)				
補助事業期間	年	月	～ 年 月	
総事業費	円	資金調達方法		
補助対象経費	円			
補助金要望額	円			
自己負担額	円			
国以外からの補助の有無	有	無	支援施策名	〇〇〇補助金
支援団体名	〇〇県	補助額	〇〇〇, 〇〇〇円	
事業実施に関する組織の合意確認年月日 (総会や理事会等)	例：平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇商店街振興組合総会にて決議			

自己負担額及び補助対象外経費の資金調達方法について、記載してください。

当該補助金以外で地方公共団体等から当該事業に対し補助金の交付等を受ける場合には、記載してください。

申請事業者における合意確認日を記載してください。合意が確認できる資料を添付してください。

②地方公共団体との連携状況等

地方公共団体との連携状況等 【別紙3：地方公共団体からの推薦書】	
地域のまちづくり計画等との整合性【任意】 【地方公共団体のまちづくり計画に関する資料を添付のこと】	<p>例： 平成〇〇年度に実施した〇〇〇〇計画、第〇章「〇〇〇〇」3. 〇〇〇〇において、〇〇〇地域の〇〇〇〇〇〇〇〇について触れられており、当該事業と〇〇〇〇の点において〇〇〇〇の関連性がある。</p>

事業の実施および、その後の自立的な事業継続に向けた、市町村等の関与状況について記載してください。

事業を実施する市町村等における、当該地域のまちづくりに関する計画・方向性との整合性について記載してください。
なお、添付しているまちづくり計画に関する資料のうち、どの部分に当該事業との関連性が示されているのかも記載してください。

商店街等構造改革支援事業計画書

③事業実施効果

・財務状況の改善、歩行者通行量、売上高、その他の効果

事業効果	○財務状況の改善		
	時期	数値目標	測定方法等
財務状況の改善、歩行者通行量、売上高等の事業効果について、具体的に記載してください。	事業実施前	〇〇〇化した〇〇〇の〇〇〇に〇〇円/年、〇〇〇に〇〇円/年の支出がある。	
	平成26年度	〇〇〇を〇〇〇することにより〇〇〇となることから、貸借対照表が〇〇〇となり、改善される。	
	平成27年度		
	平成28年度		
	平成29年度		
	平成30年度		
	○歩行者通行量		
	時期	数値目標	測定方法等
数値目標	事業実施前	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日)	調査日時：平成〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇時～〇〇時) 平成〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇時～〇〇時)
	平成26年度	〇〇人/日 〇〇人/日(休日)	
	平成27年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日)	
	平成28年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日)	
	平成29年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日)	
	平成30年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日)	
	○売上高		
	時期	数値目標	測定方法等
数値目標は、事業を実施する商店街等の財務状況の改善、歩行者通行量、売上高を必須とし、事業実施後5ヶ年間の数値目標を設定してください。	事業実施前	〇〇円	平成〇〇年〇〇月 〇〇店舗に対しヒアリング調査
	平成26年度	〇〇円、〇〇%増など	
	平成27年度	〇〇円、〇〇%増など	
	平成28年度	〇〇円、〇〇%増など	
	平成29年度	〇〇円、〇〇%増など	
	平成30年度	〇〇円、〇〇%増など	
	○その他 ()		
	時期	数値目標	測定方法等
事業実施前			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			

数値目標については、数字の羅列ではなく、数値目標となる貸借対照表や損益計算書の改善の指標を文章にて説明してください。

歩行者通行量の測定については、イベント実施時等ではない平常時の商店街の利用時間に行うこととし、報告にあたっては、同様の手法を用いてください。

「事業実施前」は、直近における測定方法等を記載し、実測値を記載してください。

「事業実施前」は、直近における実測値もしくは推計値(〇〇万円)を記載してください。

数値目標は、売上高の実測値(〇〇円)若しくは売上高の増減(〇〇%)のいずれかを記載してください。なお、売上高の実測値(〇〇円)を記載する場合には、〇〇万円以下は省略可とします。

商店街等構造改革支援事業計画書

数値目標の根拠	財務状況の改善	例： 〇〇〇によって、〇〇〇に必要な〇〇〇費の削減が可能であり、現在の〇〇〇費が〇〇〇円/年であるところ、〇〇〇単価から〇〇〇を算出し比較すると、全体で〇〇〇の〇〇〇%の削減が可能であり、〇〇〇円/年の削減を目標として設定する。
	歩行者通行量	例： 本商店街の歩行者通行量は平成〇〇年から〇〇年にかけて〇〇%減少しており、平成〇〇年の消費動向調査によると地元購買率も〇〇%低下している。しかし、本事業で整備する〇〇の主な対象者と見込まれている当市〇〇地区の〇〇世代の人口は、平成〇〇年から〇〇年にかけて〇〇%増加している。今回実施した〇〇調査においては、〇〇世代から〇〇〇に対する要望が多くあり、〇〇%程度が利用すると想定されている。従って、来街者については、人口増加率、来街者の世代割合及び利用意向の割合から、〇〇×〇〇%×〇〇%となり、年間〇〇%の増加が見込まれる。〇〇世代に加えて、それ以外の世代の潜在的な〇〇も存在していると推定されるため、1日あたり〇〇人の増加を見込み、年間〇〇%の増加を見込む。なお、平成〇〇年度は施設オープンが〇〇月予定であり、年間での事業効果としては期間が短いことから、〇年度の歩行者通行量は今年度と横ばいの目標とする。翌年度以降は当事業の効果が数字に反映されると見込み、年間〇〇%の増加を目標値とする。
	売上高	例： 平成〇〇年度～平成〇〇年度の商業統計では、年間販売額は平成〇〇年に〇〇円、平成〇〇年に〇〇円、平成〇〇年に〇〇円と減少が続いている。同様に、本商店街の年間売上額も〇〇%と減少しているが、本事業実施および〇〇〇等の商店街の自主取組により新たな来街者が見込まれ、さらに各個店が店舗の魅力を高める工夫をすることで、来街者〇〇人のうち〇〇%程度は購買行動につながると想定されるため、〇〇%の売上増加が期待できる。
	その他	数値目標の根拠については、それぞれ定量的な数値を用いて記載してください。なお、統計上のデータを引用した場合には、その旨を記載してください。
事業効果の検証等	歩行者通行量	事業効果の測定方法 例：補助事業終了後、年〇回歩行者通行量調査を実施する。 事業効果の検証及びその後の対応方法 例：評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、〇〇することにより事業効果の増大を図る。
	売上高	事業効果の測定方法 例：補助事業終了後、商店街の各店舗に対してヒアリングを実施し、売上高を把握する。 事業効果の検証及びその後の対応方法 例：評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、〇〇することにより事業効果の増大を図る。
	その他	事業効果の測定方法 事業効果の検証及びその後の対応方法
	その他	事業効果の測定方法 事業効果の検証及びその後の対応方法

売上高の数値目標の根拠を出来る限り、具体的に記載してください。なお、個店への波及効果についても併せて記載してください。

事業効果の測定方法について、具体的に記載してください。

事業効果の検証方法と検証後の対応について具体的に記載してください。

④その他

国庫補助が得られない場合の事業計画		国庫補助がない場合の事業計画について記載してください。
補助金により取得した財産の管理方法		当該事業で取得する財産がある場合は、財産の管理方法について記載してください。

(記載上の注意)

・記載欄が不足する場合は、行を適宜追加して下さい。

構造改革計画書

要望者(補助事業者)

住所

名称

代表者氏名

印

1. 構造改革に取り組む必要性

例:

本商店街を取り巻く状況として、〇〇年頃から〇〇〇が〇〇〇となっており、〇〇〇が〇〇〇という状況にある。また、〇〇年頃から〇〇〇が〇〇〇となっており、〇〇〇が〇〇〇という状況が続いている。本商店街において、〇〇〇を〇〇〇するため、〇〇〇を〇〇〇し〇〇〇することで〇〇〇となり、〇〇〇が図られ〇〇〇につながる事が事前の調査結果から導き出されている。また、〇〇〇からも〇〇〇を〇〇〇することを要望する声を確認できることから、〇〇〇を〇〇〇していくためには、〇〇〇事業、〇〇〇事業に取り組む、商店街の経営体質の強化を図る必要がある。

2. 構造改革に取り組む内容(構造改革とあわせて取り組む事業も含む)

例:

商店街の構造改革に向けて、商店街組織の〇〇〇、〇〇〇の〇〇〇及び〇〇〇を実施する。これらの事業を〇〇〇に実施することで、財務状況の改善が見込まれる。また、〇〇〇の取り組みのよって〇〇〇、〇〇〇という効果を生むため、あわせて〇〇〇が中心となって〇〇〇を〇〇回実施し、〇〇〇や〇〇〇等を行うことで〇〇〇に取り組む。

本補助事業を活用して取り組む事業だけでなく、商店街として今後どのように構造改革に向けてどのように取り組んでいくのか、または行う予定なのかについて、構造改革とあわせて取り組む事業も含めて、できる限り詳細に記載してください。

3. 構造改革に取り組む具体的内容

それぞれの観点から記載してください。構造改革に取り組む具体的内容がない項目については、空欄で構いません。

(商店街区の再整備)

例:

商店街区の〇〇〇地区の〇〇〇が〇〇〇となっており、この店舗の〇〇〇を〇〇〇し、再配置することで、〇〇〇を集約し、〇〇〇が〇〇〇となることで、商店街の店舗の集約化を行い、〇〇〇の街区の構造改革が行う。

例:

商店街〇〇〇地区では、〇〇〇が〇〇〇と過剰となっており、また、店舗の〇〇〇が〇〇〇と課題であることから、商業床の分割をし、〇〇〇しやすくし、〇〇〇となることで、商店街の店舗の効率化を図り、商店街内における〇〇〇の構造改革が行う。

(商店街組織の経営基盤強化)

例:

〇〇〇の維持に〇〇円/年の負担がかかり、〇〇〇にとっては〇〇〇となっている。〇〇〇の減少等により〇〇〇が〇〇〇していることに加え、「〇〇〇」といった要望もあり、〇〇〇を〇〇〇するためには、〇〇〇が強く求められている。〇〇〇を〇〇年に撤去することで〇〇〇の改善を図り、経営基盤の強化を行う。

※ 構造物等の撤去をする場合には、構造物等の設置年度や形状(アーケードであれば全長、幅、全蓋式/片側式等、アーチであれば基数、高さ、幅等)等についても記載してください。

例:

現在、本商店街では〇〇〇といったサービスはなく、地域住民から〇〇〇との声が寄せられている。〇〇〇と〇〇〇して〇〇〇の事業展開を〇〇年〇〇月から取り組み予定であり、商店街の〇〇〇を推進する。また、ニーズに応えた事業実施により〇〇〇が見込まれ、〇〇〇が〇〇〇することを目指し、経営基盤の強化を行う。

(商店街組織の体質強化)

例:

本商店街の店主は〇〇〇化しており、〇〇〇の不足から〇〇〇となる事が懸念事項となっている。現状が続いた場合、〇〇年後に〇〇〇している個店は〇〇店ほどと想定され、〇〇〇への対応が急務である。〇〇〇を開催して担い手を育成し、商店街組織の〇〇〇につなげ、商店街組織の体質強化を行う。

(新陳代謝を促すような空き店舗活用)

例:

本商店街の〇〇〇率は〇〇%で、平成〇〇年度から〇〇%も増加している。〇〇〇の増加に伴って〇〇〇も低下し、平成〇〇年度の〇〇〇調査では、空き店舗の〇〇%が〇〇〇となっていることが判明している。同調査では、空き店舗の原因が〇〇〇であるとの結果も出ていることから、〇〇〇を整備し商店街にある流動性の低い空き店舗の〇〇〇向上に努め、商店街を構成する店舗の新陳代謝を促す。

(その他)

構造改革計画書

4. 本補助事業として取り組む事業内容

例：

①○○○○事業

現在、○○○の○○○は○○円／年で、本商店街にとっては○○○となっていたが、○○○○事業に取り組むことで、財務状況が○○へと改善されるため、新たに○○○することができ、○○○となる。

②○○○○事業

来街者からは○○○というような意見が出ており、○○○の低下を招いている。○○○○事業により、○○○を○○○することで○○につながり、○○○も向上することにより、○○○の増加および○○○が見込まれ、財務状況の○○○への改善が見込める。

5. 本補助事業実施にあたっての調査・分析内容

※商店街等構造改革調査分析事業等の調査結果として報告書などがある場合には別紙にて添付して下さい。

例：

<調査①>

当該商店街を取り巻く地域の環境変化の状況を明確にする調査

①人口統計

(○○市)

人口動態 平成○○年 ○○人 → 平成○○年 ○○人 → 平成○○年 ○○人

高齢化率 平成○○年 ○○% → 平成○○年 ○○% → 平成○○年 ○○%

(○○地区)

人口動態 平成○○年 ○○人 → 平成○○年 ○○人 → 平成○○年 ○○人

高齢化率 平成○○年 ○○% → 平成○○年 ○○% → 平成○○年 ○○%

実施予定の事業に応じた調査結果を記載してください。(いくつか列挙していますが、これはあくまでも例示です。)

調査結果を羅列するのではなく、調査内容をどのように分析して事業実施の根拠を導き出したのか、詳細に記載してください。

平成○○年から居住人口は○○%減少しているものの、○○代以上の人口割合は○○%増加している。今後の人口予測では、平成○○年には○○代以上の比率は○○%となることが推測される。

②空店舗率

平成○○年 ○○% → 平成○○年 ○○% → 平成○○年 ○○%

空き店舗は平成○○年から増えており、○○が原因となって外部からの新規参入も過去○年間に○件にとどまっている。さらに、店主への聞き取り調査によると、後継者不足から経営継続が困難と回答する割合が○○%を占めており、今後も空き店舗の増加が見込まれる。

③店主の世代構成

○○歳以上 ○○%、○○歳以上 ○○% (平成○○年度と比較すると、○○歳以上の割合が○○%増加)

④商店街組織の役員構成

○○歳以上 ○○%、○○歳以上 ○○% (平成○○年度と比較すると、○○歳以上の割合が○○%増加)

後継者不足から空き店舗となる店舗もあるなか、若手が店を継ぎ青年部として○○に取り組んだり○○に主体的に取り組んだりと積極的な活動がうまれている。また、若手役員も少しずつ増加しており、○○を実施したり新たな事業に取り組む機運が高まっている。

⑤「平成○○年度 ○○○地区買い物動向調査」

調査対象：○○市民

配布数：○○○名

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

有効回答数：○○○名 (回収率○○%)

主な質問内容および回答：1. ○○○○○ ○○○○…○○% ②○○○…○○%

2. ○○○○○ ○○○○…○○% ②○○○…○○%

通行量は、平成○○年から減少傾向にあり、最盛期と比較すると○○%の落ち込みである。この背景には、○○地区の○○(平成○○年開業)、○○地区の○○(平成○○年開業)など郊外型大規模商業施設進出のがあると思われる。⑥の買い物動向調査においても、来街頻度の減少理由として○○や○○が挙げられており、「月○回以上来街する割合」は平成○○年に○○%だったものが平成○○年には○○%となっている。

構造改革計画書

<調査②>

財務状況の改善が図られるかどうかを明確にする調査

⑥「平成〇〇年度 〇〇市〇〇〇調査」

調査対象：〇〇市民

配布数：〇〇〇名

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

有効回答数：〇〇〇名（回収率〇〇％）

主な質問内容および回答：1. 〇〇〇〇〇 ①〇〇〇…〇〇％ ②〇〇〇…〇〇％
2. 〇〇〇〇〇 ①〇〇〇…〇〇％ ②〇〇〇…〇〇％

⑦採算性調査

〇〇調査、〇〇調査をもとに事業開始後の歳入歳出モデルを試算したところ、事業を実施しない場合の財務状況は、恒常的に〇〇が〇〇し、〇〇〇から〇〇〇しても、今後〇〇〇の負担が〇〇〇円／年となるが、事業を実施した場合、〇〇〇が〇〇〇することで〇〇〇が図られ、〇〇〇の〇〇〇が〇〇〇となり、〇〇〇につながると考えられる。

<調査③>コミュニティ機能の自律的かつ継続的な維持・強化が図られるかどうかを明確にする調査

⑧ニーズ調査

平成〇〇年実施

調査対象 〇〇商店街来街者 〇〇名（うち有効回答数 〇〇名）

【商店街に求める改善点】

- ・来街者の〇〇％から〇〇〇という意見があるが、実際には〇〇〇によって実現されておらず、〇〇〇機能の充足が求められている。市内の〇〇〇は〇〇〇地区にしかないことから、〇〇％から、当該地域に〇〇〇が実施された場合には〇〇〇として利用したいとの結果を得た。
- ・〇〇が〇〇していることを受けて「〇〇〇〇〇〇〇」との要望も多い。これについては〇〇を〇〇しているものの、根本的な解決のためにも、〇〇への取り組みが急務である。
- ・〇〇〇についても、対応を求める声があがっており、〇〇を中心として〇〇や〇〇などで構成される〇〇会を結成し、〇〇について協力して取り組んでいく予定としている。

上記、〇〇統計、〇〇調査、〇〇〇〇から、商店街を取り巻く状況は〇〇〇であり、〇〇〇を〇〇〇するなどの取組を進めていくことが必要だと想定され、〇〇〇調査からは、〇〇〇事業を実施することにより〇〇〇から〇〇〇へと〇〇〇となり、財務状況である〇〇〇が〇〇から〇〇へと改善しうることが確認できた。〇〇〇調査では、〇〇〇や〇〇〇といった要望が見られるものの、現実的には〇〇〇のため要望に応えられていない状況であるため、事業実施後の〇〇〇を活用して、〇〇〇のための〇〇〇に取り組んでいく。

構造改革計画書

6. 地域のコミュニティ機能の自律的かつ継続的な維持・強化が図られる取組

例：

本商店街は、これまで地域の〇〇〇とともに〇〇〇を実施したり、〇〇〇に取り組んできたところである。地域住民にとって重要な〇〇〇の場となっており、今後も引き続き〇〇〇などの取り組みを続けて〇〇〇を図り、さらに〇〇〇や〇〇〇といった自主事業も行うことで一層の〇〇〇を目指し、地域住民にとって重要な〇〇〇の場となることを目指す。

7. 収支計画（※構造改革事業によって収入がある場合のみ記載して下さい）

(1) 収入見積りの根拠

(2) 収支計画・自立化計画（補助事業期間内及び補助事業終了後の収支計画）